

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 13 号）の送付について

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願
いします。

記

情報の内容 シソモザイク病の県下での初確認

対象作物 青シソ（オオバ）

病原ウイルス シソモザイクウイルス（*Perilla mosaic virus*: PerMV）

1 発生経過

令和 3 年 10 月上旬、八幡浜市の青シソ栽培施設において、ウイルスによる症状とみられる
葉脈に沿った退緑やモザイクを呈する株が確認された（写真 1、2）。
このため、神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、シソモザイクウイルス（*Perilla mosaic
virus*: PerMV）によるシソモザイク病であることが確認された。

2 病徴

葉に葉脈に沿った退緑や黄化症状を呈する。また、葉にモザイク症状を生じることがあり、
葉脈がうまく伸びず曲がりを生じることがある。

3 国内での発生状況

オオバの主要産地である愛知県、茨城県、大分県、及び高知県での発生が確認されている。

4 発生生態と伝搬方法

- (1) シソモザイクウイルスは、エマラウイルス属（*Emaravirus*）に属するとされ、シソサビダ
ニ（フジダニ科）によって媒介される。
- (2) シソサビダニの寄主植物は、シソ科シソ属に属する植物（青シソ、赤シソ、エゴマ、レモ
ンエゴマ）のみに寄生することが確認されている。
- (3) シソサビダニは野外の野良生えのシソなどで増殖し、風に乗って移動することにより圃場
内に侵入する。

5 防除対策

- (1) 圃場外の伝染源となる発病株を除去する。
- (2) 感染苗を圃場内に持ち込まない。
- (3) 健全苗を利用する。育苗と収穫圃場を別の場所で行う。
- (4) 施設の周辺などに防虫ネット（0.6mm 目合い）を設置し、圃場外からのシソサビダニの侵
入を防止する。
- (5) 薬剤防除では、シソサビダニおよびサビダニ類に登録のあるコロマイト乳剤、アフアーム
乳剤などをできるだけ掛けムラがないよう丁寧に散布する。



写真1 上位展開葉のモザイク症状



写真2 展開後のモザイク症状